

令和3年度 初回研究会を4月25日(日)
県立図書館小研修室で行います。

午後1時半～3時です。

今回の会報は資料研究の紹介をします。

碧川かた研究会の内田克彦氏が碧川かただけでなく、鳥取県の初期の看護師について、資料を探しておられるので、ここに紹介します。

(1) 河崎シズ

東京帝国大学医科大学附属病院が明治31年11月、婦長養成コースである「高等看護法講習科」を一回きり開設したことがあり、同33年12月に17名の卒業生名簿の中に、
鳥取 河崎志津 明治九、八、五
とあった。

さらに、東京大学医学部附属病院看護部発行の『看護の歩み―明治・大正・昭和を通して』(一九九一年発行)に次の記述がある。

明治三三年高等看護法講習科卒業の
既に五名婦長が誕生した。

その中に河崎シズの名がある。

「明治時代の看病婦長名簿」のな中の、明治33年及び同36年の項には「河崎シズ」の名があるが、同40年にはない。

次に、『弓町本郷教会百年史』(一九八六年発行)に次の記述がある。

看病婦の河崎しずは同じ看病婦の堀かたの紹介によって本郷教会に來たり、洗礼をうける。

鳥取の武士の娘かもしれないと『久松小学校創立百周年記念誌』(一九八五年発行)の「因幡高等小学校」時代の「明治25年3月卒業」の項に「河崎シズ」の名を見つけることができただのである。

(2) 高橋政子

碧川かたの生涯を調べるための参考資料として、『写真でみる日本近代看護の歴史』があり、著者は高橋政子である。彼女は自伝『いの

ちをみつめて ある保健婦の半生』を8歳の一九九五年に発刊している。それによると、高橋は大正4年前川義雄の次女として

鳥取市西町の薬研堀に面した五〇〇坪ばかりの武家屋敷に生まれた。二つ上の兄の太郎が「後年左翼運動に走ったため私たちはアカの家といわれ、いろいろ苦労しました」

とある。

高橋は兄のこともあつて、鳥取高女卒業の翌年の昭和8年に岡山医科大学付属医院産婆看護婦養成所に入学、同10年3月卒業後同大病院勤務、昭和12年4月鳥取市立美保尋常高等小学校に学校看護婦として勤務(『児童保護』(昭和12年6月)に「美保區死亡調査」を発表している)。2年後聖路加女子専門学校公衆衛生看護学専修科入学、翌年埼玉県の農村の小学校に勤め、鳥取を離れることとなる。

(以下続く)

ホームページからこの会報が見れます

「鳥取県を舞台に！歴史大河ドラマを推進する会」と入力してホームページを開き、トップページにある「鳥取大河だより」のタブをクリックしてください。今までの会報すべてが載っていて、カラーでご覧いただけます。

大洲と米子歴史研究者の交流 会（2006年）から掘り起こす

みどりかわ

にいや

碧川は元新谷藩士であります。2006（平

成18）年に米子市の人が三十余名、愛媛県大洲

をおおず

を訪問した記事が大洲史談会の『温古』（平成23

年発行）の中にあるのを先の内田克彦氏が見つ

けた。

記事を書いているのは大洲史談会会長村上恒

夫氏で、国学者平田篤胤と新谷の碧川家のこと

が詳しく書かれている。

米子からの参加者として杉本良巳氏と松原伸

幸氏の名前が上っており、共通の話題は、大洲初

城主加藤貞泰、儒者中江藤樹であったが、意外に

も碧川のことが出て盛り上がったらしい。

杉本良巳氏は既に亡くなられている。そこで

松原伸幸氏を米子の友人を頼って探した。

ご家族の松原伸治氏と連絡が取れたのが昨年

秋で、その日は4年前に亡くなられた父伸幸氏

の命日であるという。強いお引き合わせの運命を感じました。

「父の部屋を見たら資料がありました」との

返事があり、11月にご自宅訪問をした。

資料は「西村家と碧川家の略系図」、潮地ル

ミ（かたの孫）さんからの封書、米子聖ニコラ

ス教会年表などで、きちんとファイルされた貴

重なものを見せていただきました。（四井幸子）

碧川かたの

功績 知って！

紙しばい 完成



誰もが親しめる紙芝居『赤とんぼの母』碧川

かたの生涯』が鳥取県の補助金を活用してでき

ました。3月14日（日）の日本海新聞で紹介さ

れました。ネットで14日のこの記事を出すと

取材時の動画が見れます。鳥取県内やたつの市

の公共図書館に配置していますのでご利用く

ださい。

「今後のイベント」

● わらべ館で紙芝居上演

わらべ館では「新収

蔵資料展」が3月18日

（木）～4月20日（火）

に開催され、その関連で、

4月18日（日）下のイ

ベントが11時からと14

時からあり、14時から

の時に「赤とんぼの母

碧川かたの生涯」の紙

芝居を行います。

要…申込 4日9時より

要…入館料

● 冒頭案内の研究会は4月25日（日）です。

「場所」・「日時」は冒頭の通りです。

「内容」①「赤とんぼの母 碧川かたの

生涯」紙芝居上演

②ブックレット作成に向けて原稿検討

をします。新会員募集します。

※今年度から正会員は年会費1000円

が必要です。他に資料代100円。

マスク着用でおいください。

※事前申込みは不要です。

